

令和4年度 第2回佐倉市オーガニックビレッジ検討部会 概要

1. 日時：令和4年7月15日（金） 13時30分～16時00分
2. 場所：佐倉市役所1号館6階 大会議室
3. 出席者：農業者2名、事業者1名、消費者2名、JA1名、
千葉県2名、佐倉市教育委員会1名、学校栄養士1名、
佐倉市2名、事務局5名
オブザーバー：関東農政局4名、千葉県1名
4. 概要：

○ポイント

- ・事務局が提案した7つの試行的取組について、様々な観点からの意見及び質問を通じ、内容の充実が図られた。
- ・第3回検討部会は、令和5年1月に開催予定。試行的取組の結果を踏まえた、有機農業実施計画の骨子（案）について検討する。

（1）議事

○議事第1号 試行的取組等について

7つの試行的取組について、事務局から資料に沿って説明を行った。主な質問・意見は以下のとおり。

①有機農業等に関する意識調査

（意見）「有機農業」に固執するのではなく、「持続可能な農業」という形で推進するのが良いのではないかと。

（回答）良い観点だと思うので、実施計画等に反映させたい。

（意見）持続可能な農業の取組事例を紹介してはどうか。

（回答）他の生産者の参考にもなると思われるので、検討したい。

②セミナー及び研修会の開催

（意見）みどり法に関するセミナーや研修会に加えて、地元生産者の取組を紹介してはどうか。

（回答）ぜひ紹介していきたい。

③先進地の視察

（意見）市内でも色々な取組があるので、市内の現状について視察するのも良いと思う。

（回答）今後検討したい。

④栽培技術の実証

（質問）対象は、現に有機農業に取り組んでいる生産者と慣行農業からの転換を計画している生産者のどちらか。

（回答）基本的にはすでに取り組んでいる方を中心で考えているが、新規で取り組みたい方についてもぜひ参加していた

だきたい。

⑤展示会への出展

(質問) 出展に係る費用はどうか。

(回答) 全額、交付金で対応する。

(意見) PR が目的であれば、展示会への出展だけでなく、他の方法も検討してはどうか。

(回答) 今回は検討部会としての出展を考えているが、販売だけではなく市の取組紹介やセミナー等での PR も行う予定である。

⑥販路拡大に向けた意向調査

(質問) 調査対象者数ほどの程度か。

(回答) 市内の全飲食店・宿泊施設を予定している。

(意見) 生産者側の意向を踏まえた調査が有効と考える。

(回答) 調査票については、事前に御意見を伺いたいと考えている。

⑦学校給食における有機農産物の活用促進

(意見) 冬場の葉物は、雑草や病害虫の対応がほぼ不要となるので、取り組みやすい。

(意見) 天候不順等による欠品時、どのようにして代替品を納入するかが課題。

(2) その他

①事務局からの提案

○有機農業生産分科会 (仮)

－有機農産物の生産拡大及び栽培技術の向上などを効率的・効果的に進めるためには、営農技術の習得や向上のための情報交換の場が必要。

－そのため、有機農業生産分科会 (仮) を立ち上げてはどうか。

○有機 JAS に代わる認証

－食品表示法に基づき、有機 JAS 認証を取得しなければ、「有機農産物」と対外的に明示することができない。

－有機 JAS 認証以外に PGS (地域での認証) もあるので、第 3 回検討部会までに、他自治体等の情報収集を踏まえ、市としての取組方針を示したい。

②次回の開催予定

○第 3 回検討部会は、令和 5 年 1 月に開催を予定している。

○試行的取組の結果を踏まえた、有機農業実施計画の骨子(案)について検討する予定。